

龍谷顕真会会報

荒木行也代表世話人挨拶	2
2007 (平成 19) 年度 会員名簿及び会員活動報告	3~ 4
龍谷顕真会『第 4 回国内研修会』開催報告	5~ 9
龍谷顕真会『第 15 回海外視察』開催報告	10~17
藤谷光信賛助会員・参議院議員挨拶	18
2007 (平成 19) 年度 活動報告・会員動静 寄贈誌のご紹介・事務局より	19~20



『第15回海外視察』台湾・蓮池潭にて

ご挨拶



代表世話人

荒木 行也

このたびの龍谷顕真会の役員改選にあたり、前代表世話人藤谷光信先生が参院選出馬のため、代表世話人をご勇退されました。後をうけて、名誉と伝統のあるこの会の代表世話人という、重責をお受けすることになりました。

もとより浅学非才でございますので、会員各位やお世話をいただくご本山の事務局の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会員の皆様のご協力によりまして、前

代表世話人藤谷光信先生は無事参議院議員に当選され頑張っておられます。本当に皆様のご協力ありがとうございました。これを機に、宗門では国政とどう関わっていくかについて検討が重ねられております。

私たち龍谷顕真会におきましても念願でありました築地聞真会との交流も早期に実現できるのではないでしょうか。藤谷先生にもお願いをいたしております。

現在、龍谷顕真会の会員・賛助会員は、本願寺派の僧籍にあるもので構成されておりますが、昨今の市町村合併により、会員数が減少しております。このため、世話人会等で僧侶だけでなく、ご門徒の方で本山より推薦状をいただいた方々にも入会していただいております。また、賛助会員のご意見が聞かれます。中からも世話人を出してはどうだろうか

との話も出ています。いろいろな面で龍谷顕真会も変わっていかざるを得ないようになるのではないかと考えますが、皆様方のご指導、ご協力をお願いいたします。

二〇〇七(平成十九)年度

会員名簿及び活動報告

- ① 議会役職
- ② 所属委員会および役職
- ③ 地域団体役職
- ④ 所属党派・役職
- ⑤ 本年度の取り組みについて

山本 隆俊	茨木市議
和田 秀教	大阪・茨木東・称名寺住職 和歌山市議
波多 正文	和歌山・和歌山北・正光寺衆徒 尼崎市議 兵庫・阪神南・正光寺住職
大前 寛乗	坂出市議 四州・飯山北・善光寺住職
米沢 痴達	周南市議 山口・熊濃・真光寺
島田 明	山口県議 山口・防府・善正寺住職
弘中 正俊	防府市議 山口・防府・乗田寺住職
久保 玄爾	防府市議 山口・防府・信行寺住職
嶋田 政憲	勝山市議
横山 善道	福井・福井・本覚寺衆徒 山県市議 岐阜・黒野・金證寺住職
寺本 克磨	川越町議 東海・朝明・法雲寺衆徒
① 総務建設常任委員長	
② 議会運営委員会委員	
③ 社会福祉協議会監事、環境クリーンセンター 議会議員、都市計画審議会委員、下水道審 議会委員	
⑤ 議会の活性化に取組む様、働きかけをして います	
山田 眞澄	元東員町議
大塚 泰雄	東海・員弁・浄源寺前住職 高島市議 滋賀・高島・通安寺住職
亀井 義昭	中川町長 北海道・上川北・極楽寺衆徒
谷口 隆徳	士別市議 北海道・上川北・常德寺住職
芳滝 仁	幕別町議 北海道・十勝・顕勝寺住職
櫻田 真人	北見市議 北海道・北見東・本覚寺衆徒
松平 樹人	北見市議 北海道・北見東・常楽寺前住

賛助会員名簿

井上 隆純

下関市議

小泉 玲子

元御津町議

志賀 諦了

元久住町議

山口・豊浦西・正音寺住職

兵庫・網干・浄泉寺衆徒

大分・岡・明尊寺住職

荒木 行也

元みやま市議

窪田 享信

元大田市議

前原 弾郎

元深田村長

福岡・三門南・阿弥陀寺住職

山陰・大家・願林寺住職

熊本・球磨・善正寺前住

長嶺 興也

美里町長

笠川 紹隆

元金城町議

佐々木一法

元五和町議

熊本・益南・善林寺住職

山陰・福屋・浄光寺住職

熊本・天草下・西明寺住職

崎田 要司

清武町議

櫻井 賢三

元湯来町議

龍谷頭真会役員

宮崎・宮崎・長明寺住職

安芸・佐伯奥・正光寺住職

代表世話人

荒木 行也 (元みやま市議)

柴田 薫心

元札幌市議

藤谷 光信

元山口県議

世話人

北海道・札幌・宝流寺前住

熊谷 宗圓

元岩国市議

第一ブロック〈北海道と和歌山〉

楯 大亮

元南富良野町長

山口・岩国・西福寺前住

大塚 泰雄 (高島市議)

北海道・上川南・玄正寺住職

秋里 勝道

元美東町議

山本 隆俊 (茨木市議)

櫻田 正弘

元北見市議

山口・美祢東・明楽寺住職

第二ブロック〈兵庫と山口〉

北海道・北見東・本覚寺衆徒

佐藤 哲紹

元湯布院町長

大前 寛乗 (坂出市議)

花本 肇正

元大島町議

大分・湯布院・長因寺住職

弘 中正俊 (防府市議)

高岡・射水・称念寺住職

元湯布院町長

第三ブロック〈九州〉

会計監査員

寺本 克磨 (川越町議)

山田 眞澄 (元東員町議)

一日 程一

期日	時間	行 事 内 容	場 所
11月14日(水)	13:00	集合	J R広島駅
	13:15	出発<中国道・浜田道>	
	15:00	浄光寺着 開会式 ・開式のことば ・勤行(讃仏偈、調声:荒木行也代表世話人) ・挨拶(荒木行也代表世話人) ・閉式のことば 視察:有福の善太郎さん ※浄光寺能美紹隆住職より、妙好人善太郎さんについてのお話をお伺いした後、本堂・庫裏の資料館を見学し、茶話会を行った	山陰・福屋・浄光寺
	17:00	宿舎着	温泉津温泉 旅館ますや
	17:30	懇親会 ・挨拶(竺川紹隆賛助会員) ・挨拶(三明浄信山陰教区教務所長) ・乾杯(窪田享信賛助会員) ・歓談 ・挨拶(中村澄枝事務局長)	
11月15日(木)	6:30	晨朝参拝	山陰・温泉津・西楽寺
	8:20	宿舎発	
	8:50	視察:世界遺産石見銀山 ※石見銀山ガイドの会西本俊司会長(山陰・大森・西本寺前住職)にガイドを依頼 ・龍源寺間歩 ・銀山地内散策 (清水谷精錬所跡・安養寺・豊栄神社) ・西本寺 ・遊歩道散策 (大久保石見守墓・下河原吹屋敷) ・町並み散策 (五百羅漢・西性寺・熊谷家住宅等)	石見銀山
	15:30	視察:小浜の才市さん ※安楽寺梅田淳敬住職より、妙好人浅原才市さんについてのお話をお伺いした後、本堂の資料館を見学し、茶話会を行った	山陰・温泉津・安楽寺
	17:30	宿舎着	浜田ワシントンホテルプラザ
11月16日(金)	8:30	宿舎発	
	9:00	海産物ショッピング	
	9:30	浜田発	
		J R広島駅着	
	11:30	解散	

『龍谷顕真会第四回国内研修会』開催報告

開催日
視察先
参加者

二〇〇七(平成十九)年十一月十四日(水)～十六日(金)
第二ブロック・山陰教区
十六名

第四回国内研修レポート

世界遺産を見学して

賛助会員 柴田 薫心

島根県の一部かもしれないが、妙好人の多いのに驚いた。宣教会百年の努力もあると思うが、御住職の身を粉にした精進の給ものだろう。頭の下がる思いである。

平成十九年の七月に世界遺産に登録になったばかりの石見銀山に案内された。日本にも十七カ所の世界遺産が登録されているようだが他の処とは異なった物見遊山ではなく、百年式百年前の苦労を想い起し目を赤くした。特に銀は大変な価値があった時代であるから、鉾山を切り開いて行く坑内員の姿が目につく。一日一生懸命働いても一尺たらずの前進と云う、盛りの時代には二十万人の人口が居住し寺院も百三十カ寺あの谷間での生活大変であつたらう、坑内員は三十歳ぐらいで力尽き、お亡くなりになった様子。大変な重労働であつたのだろう。片手に油の灯りを持って真っ暗な鉾山を進んでいく、機械も電機もない時代であ

るからノミ一丁の手掘りである故に死者も多かったのだろう。あちこちにお墓が見える。今はお寺も十一カ寺、その中で住職の居るお寺は五カ寺（禅寺一カ寺、本派四カ寺）である。小学校の生徒も十三人、明年度は統合になるとのお話でした。なんといつても本派が生きていた。西本寺の西本住職（私と同級生）が、石見銀山ガイドの会を作って、会長になり案内をして頂いた事です。四キロの道を歩いて洞窟に入ったり、精錬所の跡を見たり、お墓に手を合わせた。そして自坊にまで御案内を頂き、お茶の接待を受けました。誠に有難く感謝に堪えません。社会の中で活躍している方が多くいると思うとうれしく思いました。終わりにりましたが、今回の参加者は、龍谷



龍源寺間部入口

顕真会のメンバー現職は一人で、残りはおBです。現職議員は多忙なのかもしれないが、龍谷顕真会の意識を解して欲しいと思いました。現職の方々の入会・参加を期待します。有難うございました。

石見銀山遺跡からの情報発信

賛助会員 窪田 享信

地元において、歓迎し案内する立場にありながら何も出来なかったこと、先ずおわびをいたします。

参加して、石見銀山遺跡の「観光客」の多さに改めて驚き「世界遺産」の力を思い知らされました。

大田市も、島根県も「ユネスコ」の情報発信をしないまま「世界遺産登録」を求めてきました。登録直前から、ユネスコとその精神について認識を新たにしたのです。

この四月から、私は大田市役所の総務部人権推進課の指導員ということで、週二回、出勤しています。私の名刺には、ユネスコ憲章の前文から「戦争は人の心の中から生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」と印刷

してあります。この言葉と「世のなか安
穩なれ」が重なり合って響くように感じさ
せられています。

石見銀山遺跡の歴史に、「差別の歴史」を
訪ねる営みのなかで、石見銀山の初代奉行
大久保長安の出自が、猿楽衆であったこと
に出会いました。猿楽は現在の能楽であり、
能楽は、人形浄瑠璃、歌舞伎とともに無形の
世界遺産でした。そして猿楽、人形浄瑠璃、
歌舞伎、ともに「賤視」された人びとの中で
生まれ、育ち、日本の伝統芸術文化として国
際的にも高く評価されているのでした。

大久保長安は、徳川幕府に大きな貢献を
して、百二十万石という権力者になりました
が、死後、徳川家康によって肅清され、
葬儀をすることも許されず、その子七人も
切腹させられました。

「大久保長安」を通して、差別が支配者
によって作られたことを学ばされました。

西本寺で、お茶をいただきながら、少し
話させていただき、レジュメ「ユネスコの
精神と石見銀山遺跡」を差し上げました。
大田市で、石見銀山をめぐって、このよう
な営みがあることを知っていただけたらと
思っています。

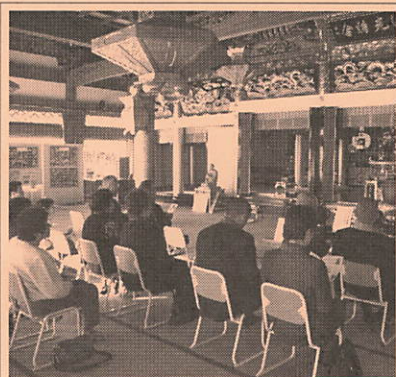
合掌



浄光寺にて記念撮影

写真グラフ

《11月14日（水）》



開会式風景



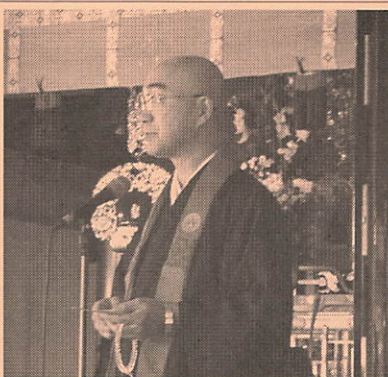
調声：荒木行也代表世話人



挨拶：荒木行也代表世話人



浄光寺能美住職より法話



浄光寺能美住職より法話



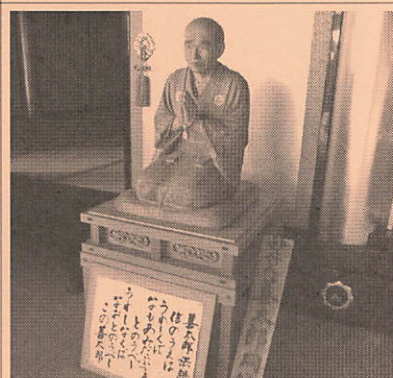
本堂内展示の見学



庫裏展示の見学



庫裏にて茶話会



善太郎さん木像



ますや旅館

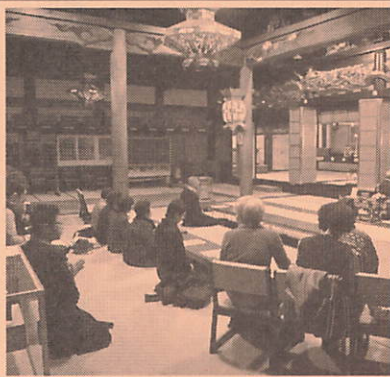


懇親会



懇親会

《11月15日（木）》



西楽寺にて晨朝参拝



菅原住職より法話



温泉津温泉街の浅原才市像



石見銀山



龍源寺間歩



龍源寺間歩



西本寺



五百羅漢



安楽寺梅田住職より法話



安楽寺梅田住職より法話



安楽寺梅田住職より法話

一日 程一

日次	月 日	現地 時間	内 容	場 所
1	1/28 (月)	午前 午後	札幌、中部、福岡の各空港より出発 台北空港経由で高雄空港着 到着後、ホテルへ チェックイン 結団式・夕 食 宿 泊	高雄市内 高雄泊
2	1/29 (火)	午前 午後	朝 食 高雄市内見学 (澄清湖) 法雷寺訪問 昼 食 高雄市内見学 (寿山公園・蓮池潭・慈濟宮) 台湾高速鉄道にて台中へ 夕 食 宿 泊	ホテル 高雄市内 台中市内 台中泊
3	1/30 (水)	午前 午後	朝 食 光照寺・光明寺訪問 昼 食 台中市内見学 (台中孔子廟・寶覺寺) 台湾高速鉄道にて台北へ 夕 食 宿 泊	ホテル 台中市内 台中市内 台北市内 台北泊
4	1/31 (木)	終日	朝 食 台北市内見学 (台湾民主記念館・龍山寺・ 保安宮・故宮博物院・忠烈祠) 夕 食(さよならパーティー) 宿 泊	ホテル 台北市内 台北市内 台北泊
5	2/ 1 (金)	午前 午後	朝 食 ショッピング等 昼 食 解散、台北空港発 札幌、中部、福岡の各空港に到着	ホテル 台北市内

『龍谷顕真会第十五回海外視察—台湾—』 開催報告

開 催 日 二〇〇八(平成二十)年一月二十八日(月)～二月一日(金)
 視 察 先 台湾(高雄・台中・台北)
 参 加 者 十五名

第十五回海外視察レポート

台湾開教地巡拝記

会計監査員

山田 眞澄

台湾人の植民地時代の日本宗教に対する感情を心配しながら、研修会に参加しました。高雄市、台中市、台北市と南から北へ新幹線を利用して進みました。

陳銘芳師は前の戦争中に中央仏教学院・布教研究所等に学ばれ、戦後、全ての日本寺院が政府に接収される中、一九五三年台中市に光明寺を建立され、困難極まる中、布教に奔走されました。この努力が実を結び台湾開教地の指定を受け、現在三カ寺が建立されています。

台湾南部の高雄市の法雷寺の住職は、奈良教区浄教寺の衆徒の釈瑞覚さんです。高い丘の上に本堂が建立されており、周辺と全く異なる日本式屋根の大きい建物です。お話を聞くと台湾は勿論、日本、中国本土まで布教しているとのこと、静かな話しぶりの中にお念仏を喜ぶ姿を尊く思いました。

本堂入口に

は、中国の建物でよく見かけるお目出度い文字を書いた聯の代わりでしょうか、正信偈の文が左右の柱に懸けてありました。



法雷寺

内部造作ができていない本堂に代わって、事務所の隣に集会所があり、そこでお話を聞いたのですが、正面の宗祖の絵像の位置が間違っていました。誰かが指摘しますと瑞覚さんは御礼をいいながら、直ちに場所替えを行いました。その態度は清々しいものでした。

光明寺には陳銘芳師が持ち帰られた、私の近くの出身の前田慧雪集があり、懐かしく思いました。

光照寺では前卓の左右に大きな鑿と木魚が置かれており、台湾の宗教色から止むを得ないとはいえ、浄土真宗と台湾宗教の混

在を垣間見た感じでした。

先述の悪感情の件ですが、特に悪い感じも受けず、訪れることはできなかったが、台北市の旧西本願寺別院も建物は無くなっていますが、参道は残り、旧境内は近く公園化されると市の観光案内にありました。

世界遺産を見学して

賛助会員

柴田 薫心

第十五回海外視察に参加できて幸せに思いました。何故なら今の己を反省する機会にもなったからです。

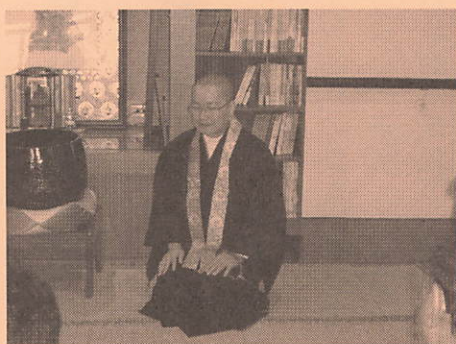
台湾四泊五日の視察でしたが、高雄に一カ寺、台北に二カ寺の本派の寺院に参拝しました。合計三カ寺しかなく九州より小さい国に二千三百万人の人々が生活をしており、宗教はいろいろ有りますが、戦後は日本寺院が全て政府に買取された関係で、本願寺派は全滅いたしました。一九五三年光明寺（台北）の現住職の父陳銘芳師が親鸞聖人の尊い御教えを弘宣し維持する為に建立し、その後二〇〇四年に前門様より命名された光照寺が建てられました。尊い御

教えが社会、家庭、生活の中に生きてゆくことを目標に、それを実践する為、積極的に自信教人信の理念を弘め、聞法伝道の活動を推進していました。

高雄には法雷寺という未完成のお寺がありました。そのお寺の瑞覚住職は「自分の生死の問題を抱えたときに京都で良き師匠に出逢い、その方のご縁で救われる事ができました。十八年間勉強させて頂き、お念仏のみ法を台湾に広げようと帰国し、今努力をしている最中です」と涙ながらにお念仏のご縁を喜んでおられました。参加者一同感涙にむせびました。

私は今まで既成教団の中で安穩としていた事に恥ずかしく、開教区で苦勞をされている相を新たにし見聞しました。これらの人生無駄にしたいくないと想うのでした。

合 掌



法雷寺瑞覚住職よりお話

台湾旅行で感じた事

賛助会員 櫻井 賢三

一月二十八日、福岡空港を午前十時十分発、機内食は、美食、ワイン、ビールをゆっくりと呑み食べ終わるとアツという間、一時間半で台北空港に到着、高雄空港行きに午後三時五分発、上空から下を見下ろすと、あちこちから無数の滝のしぶきが見られた。沢山の急流な川があるものと感じた。後から聞くとウナギの養殖で池に酸素を送っているのだと聞かされ、びっくりした。午後四時到着。

二日目は、念願の法雷寺を訪問した。日本にも留学されたという、熱心な尼僧さんに開教の苦勞話を聞く。現在立派な本堂伽藍が建っている。内陣はこれから整えるとのこと。大きな石碑が二基あり見ものである。高雄市内は高層ビルが建ち並び、東京とあまり変わらない。澄清湖、蓮池潭、寿山公園を見学の後、日本の技術によって完成した新幹線に乗り台中へ移動した。

三日目は光明寺、光照寺を訪問した。兄弟でそれぞれの住職をされている。その母親も八十八歳でご健在である。ピアノを上

手に弾いていた。き、佛讃歌、童謡を皆さんと一緒に歌った。台湾では本派の寺は僅か三カ寺。これから日本より開教に向かつて青年僧侶を送るべきだと痛感した。

四日目は台北。台湾民主記念館では、蒋介石の遺影、吉田茂、マッカーサー等、会見の写真が大きく飾られている。故宮博物院、六十万点の宝物があるという。その他にも、龍山寺、保安宮、忠烈祠等を見物した。

台湾は小さい国、貧乏な国だと思っていたが、どうしてどうして、九州より少し小さい国だが人口は二千三百万人、南北四百キロ、東西二百キロの面積。これからの台湾はどうなるのか？案内人の蘇信良さんに聞くと「国会議員の七割が中国と合併すると答え、三割が反対。従って台湾の独立はあり得ない。」ときっぱりと答えた。また、この夏、中国でオリンピックが終わったら暴動が起これと言われたのが強く印象に残った。この度の旅行は大変有意義な楽しい思



光 照 寺

い出に残るものであった。団長の荒木さんをはじめ、本願寺総局公室（渉外・広報担当）の秋田さん、近畿日本ツーリストの中井さん色々とお世話になりました。厚く、御礼を申し上げます。

台湾研修の旅

賛助会員 藤谷 光信

「海の内外のへだてなく……」真宗宗歌のとおり、念仏のみ教えは着実に海を越えて異郷の地でお念仏の花が咲いています。

さて、本年度の龍谷顕真会の海外研修視察は台湾に行つて参りました。

総勢十六名が日本各地から航空機で台北へ集結。一月二十八日（月）の現地時間午前十一時でした。すぐに国内線に乗り換え高雄市へ向かいました。夕刻には高雄福華大飯店の海鮮料理で結団式を行い、今回の旅行の目的や意義などを話しあいました。

「台湾」は顕真会として二度目の旅です。で、前回の視察後どのようになっているのか、期待を持つての旅でした。戦前は台北別院を中心に布教活動が行われていました。戦後はきびしい思想統制などや排日運

動で浄土真宗の灯は消えたかにみえたが、一九五三年、台中市の光明寺を設立された陳銘芳師により、熱心な布教活動が再開されたことなど、歴史についても参加者一同で研修をしました。

翌日は高雄市の法雷寺を訪問しました。法雷寺は未だ建設途中でしたが、その建立に努力されている瑞覚師が我々一行を待つておられ、師の聞法の歩みと寺院建立の苦心を聞かせてもらいました。彼女は、日本へ留学し、故稲垣瑞剣師に師事されてからは、何度も法縁に会ううちについて念仏者としてご縁を結ばれ、一念発起、台湾の高雄市に法雷寺の建立を決意されました。台湾全土から若い台湾人の念仏の行者が育ちつつあるようで、近日中には香港に向いて若者たちに親鸞聖人のとかれた「お念仏のいわれ」を説きに行きますとおっしゃっていました。

私も五十年前も前になりますが、稲垣瑞剣師の法話を聞いたことがありますので、この地で同じ「お法り」の喜びを分けあえる法友に会い、感激もひとしおでした。この法雷寺は、奈良市三条町の浄教寺の島田和磨師や、多くの関係者の人たちのご懇念で、

日本各地から懇志が集まっているよう。私共、顕真会の一同もご懇志をお供えしました。また、参加者一同が今後もこの法雷寺の建設のために協力しようと話し合いました。

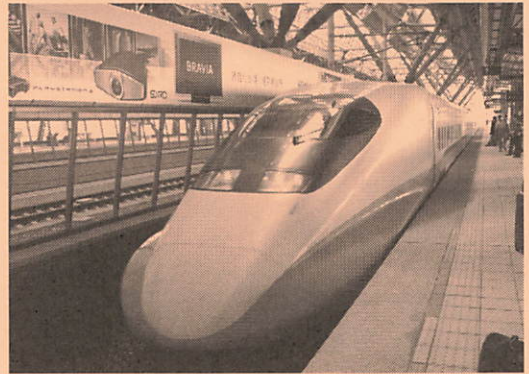
その後、出来たばかりの台湾高速鉄道（台湾の新幹線）に乗せてもらい台中市へ向かい、この日は台中福華大飯店へ宿をとり、「上海料理」をいただきました。

翌日（二月三十日（水））は、台中の本派寺院の光明寺と光照寺へお参りました。この光明寺が、有名な故陳銘芳師の開かれた寺で、光照寺は銘芳師の長男陳一信師が、光明寺の方は弟の陳松甫師が住職を継いでおられます。熱心なお同行の方も集まれ、読経・法話の後は、南国のフルーツやジュースに舌鼓をうちながら、懇談いたしました。また、その折に、久しぶりに銘芳師の未亡人とお逢いし、旧交を暖め、奥様が演奏されるオルガンの仏教讃歌を皆で歌い、法悦のひとつときをすごしました。

光照寺にはご門主様が二〇〇四年三月に来られ、ご親修法要もあったそうです。内陣も日本の寺院に負けないほど立派なもので、これは日本の「はせがわ美術工芸社」などの寄付で出来たとのことでした。

午後には
台湾高速鉄
道で台北へ
移動。台湾
高速鉄道は
日本の新幹
線をモデル
に作られ、
開業後も日
本のシステ
ムで運行し
ているそうで、日本の新幹線よりもスマー
トで、華やかで、列車の旅にはおすすめで
す。台北では福華大飯店台北で宿をとりま
した。今回の視察中のホテルはご本山の事
務局（総局公室〈渉外・広報担当〉）の皆
さんの努力でそれぞれ一流のホテルが用意
され台湾の夜を満喫しました。

その後、台北市内の見学や見物をして、
二月一日（金）にはそれぞれ日本へ向かい、
有意義な四泊五日の海外視察を終えました。
顕真会の会員の皆様や事務局の方々のご配
慮と近畿日本ツーリストの添乗員の方のご
協力が無事に行われました。御礼申し上げます。



台湾高速鉄道

この貴重な経験を、これからの活動に活
かすと同時に、さらに聞法にいそしみたい
と思います。

龍谷顕真会海外視察に参加して

安芸教区・佐伯西組・常念寺 洲山 弘昭

この度、初めて龍谷顕真会海外視察に参
加させていただきました。皆様には大変お
世話になりました。

これはいい研修旅行になるということでは
是非行ってみたいと広島から私と櫻井先生
と現在の台湾の発展の様子を拝見させてい
ただきました。街は高層ビルが建ち並んで
いました。今日の人口の増加が多くの人々
と関係しているのではないかと思わずには
おれません。通勤のためか多くの車
も走っており交通も発達していることや大
都市に人口が集まって、街と街との結びつ
きが重要なことになっていることが今日の
様子を物語っているようでした。高雄の寺
院法雷寺は街から少し離れた信仰心のあつ
い自然の多い場所でもとても大きなお寺で護
持される方々によって建立され今後の発展

が期待される様子でした。

台中の光明寺、光照寺も長い歴史と寺院
を支えてこられた皆様にお会いできて、大
変感動しました。ありがとうございました。

第十五回海外視察研修会について

岡部 妙子

龍谷顕真会の台湾視察旅行に参加させて
頂きまして、ありがとうございました。お
寺に保育所にと忙しい毎日を過ごして参り
ました。自分達の番はもうそろそろ終りに
近いと思うこの頃です。この度の視察旅行
は、美しい景色をみて、美味しい食事をす
る旅と違い、感動と感謝の旅となりました。
法雷寺様では、御住職様が真の宗教に出
会えた事、教化活動に力をそそいでいる事、
聞法の為の本堂を建立したいという決意を
涙ながらにお聞かせ下さいました。聞かせ
て頂きました私達も感動の涙をおさえる事
が出来ませんでした。光照寺様、光明寺様
では、御同朋御同行の皆様とこの台湾の地
でお会い出来ました。拍手でお迎え頂き心
のこもったおもてなしを頂き、温かいもの



▲ 2008. 1. 29 法雷寺



▲ 2008. 1. 30 光照寺



◀ 2008. 1. 30 光明寺

を感じました。終わりを迎えようとしている私達ですが、光照寺様の前坊守様のよう
に、まだまだ何かが出来来るかもしれない、
何かを成さねばならないという気持ちを起
らせていただいた旅行であったなと喜んで
おります。

「第15回海外視察」写真グラフ

《1月28日（月）》



結団式 挨拶：荒木代表世話人



挨拶：藤谷前代表世話人



乾杯：山田会計監査員

《1月29日（火）》



法雷寺、建設中の本堂



調声：荒木代表世話人



讀仏偈をおつとめ



寿山公園



慈濟宮



慈濟宮

《1月30日（水）》



光照寺



歓迎



重誓偈をおつとめ



陳一信住職よりお話



荒木代表世話人より挨拶



光明寺



調声：荒木代表世話人



陳松甫住職・荒木代表世話人より挨拶



茶話会

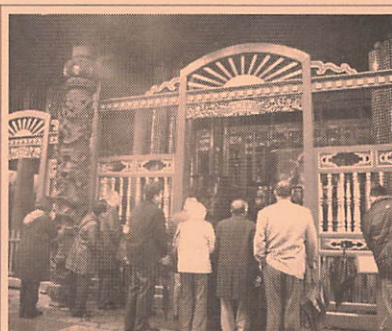
《1月31日（木）》



台湾民主記念館



龍山寺



龍山寺



故宮博物院



忠烈祠



さよならパーティー

ご挨拶



賛助会員
参議院議員

藤谷 光信

皆様におかれましては、ご清栄のうちにお過ごしと拝察します。

私は、多くの皆様の暖かいご支援により、参議院議員に選んでいただき、皆様の尊いご意志を忘れずに、毎日元気にやっています。

目下、参議院の文部科学委員会、災害対策特別委員会、少子高齢化・共生社会に関する調査会などに属し、最近では、ようやく議会のあり方などを理解して、少しでもご期待に副うべく努力しています。

文部科学委員会は、いわゆる教育を取

り扱うところです。幼稚園から大学院までの学校教育の問題、教育基本法の改定に伴う学習指導要領の制定について等は勿論のことですが、公益法人に関しての宗教法人のことなども積極的に取り組んでいます。

将来の日本をうれう多くの人から、今後の教育のあり方について、ご意見を寄せていただいていますので、真摯にお話を聞いて参考にしてまいりたいと思います。

国会は、大変広範囲に国民生活と深く関わっています。すべて、ここで触れるわけには参りませんが、早朝から夕刻まで、各省庁からのヒアリング、議員同士（議員連盟）の勉強会、外部の専門家を招いての研修など、息つく閑もないほど充実した日を送っています。

また、土・日曜日には、山口県へ帰郷し、自坊での法要や法座への参加を心掛けております。東京では、築地本願寺へ

は、折にふれ、足繁くお参りしています。昨秋（九月）の千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要には、多くの衆参国會議員の方々をお誘いしてお参りました。

ご承知のように築地本願寺（別院）には、前門さまがお造りになった築地聞真会があり、私も会員として参加しています。各会員の「聞法活動」の一環として、千鳥ヶ淵の法要には、皆さんを誘って参加しましたが、参加された国會議員の皆さんから異口同音に「来て良かった」と感謝の喜びの声があがっており、私も役目をはたしたような気がして、ありがたく思っております。

これからも、全国の同志の皆様、御同朋御同行の方々に励まされながら、ご意見を真摯に拝聴してやっていきたいと思っています。

よろしく、ご指導の程、お願いいたします。

二〇〇七(平成十九)年度 活動報告

二〇〇七(平成十九)年

四月二十六日(木)

會計監査

第一回世話人会

五月二十一日(月)

第二回世話人会

總會懇親会

五月二十二日(火)

總會

【講師】北川健太郎氏

(京都地方検察庁 特別刑事部長)

【議題】裁判員制度について

五月三十一日(土)

親鸞聖人降誕会法要参拝

十一月十四日(水)～十六日(金)

第四回国内研修会

【開催地】山陰教区

二〇〇八(平成二十)年

一月十五日(火)

御正忌報恩講参拝

一月二十八日(月)～二月一日(金)

第十五回海外視察

【開催地】台湾(高雄・台中・台北)

二月十五日(金)

第三回世話人会

会 員 動 静

【退会会員】

井上 香

〈元勝山市議〉

福井・円陵・嚴教寺衆徒

傍示 暢昭

〈元佐賀市議〉

佐賀・巨瀬・正見寺住職

【新入会員(普通会員)】

櫻田 真人

〈北見市議〉

北海道・北見東・本覚寺衆徒

松平 樹人

〈北見市議〉

北海道・北見東・常楽寺前住職

【新入会員(賛助会員)】

柴田 薫心

〈元札幌市議〉

北海道・札幌・宝流寺前住職

花木 肇正

〈元大島町議〉

高岡・射水・称念寺住職

竺川 紹隆

〈元金城町議〉

山陰・福屋・浄光寺住職

藤谷 光信

〈元山口県議〉

山口・岩国・教蓮寺前住職

秋里 勝道

〈元美里町議〉

山口・美祢東・明楽寺住職

寄贈誌のご紹介

高島市議会議員 大塚泰雄

▼高島市議会議員 大塚泰雄 後援会だより

『ふれあい』第二十三号(平成十九年五月発行)・

第二十四号(平成十九年七月発行)・第二十五

号(平成十九年十月発行)

▼高島市民クラブ会報『絆』第三号(平成十九年四月発行)

事務局より

「二〇〇八(平成二十)年度総会」について

二〇〇八年(平成二十)年五月二十二日(水)

《開催予定》

「二〇〇八(平成二十)年度総会」は、本年も宗祖親鸞聖人降誕会に併せての開催を予定いたしております。総会前日の二十一日(火)には法要参拝ならびに飛雲閣でのお茶席のご案内、また、懇親会がございます。会員の皆様におかれましては、どうぞご出席賜りますようご案内申し上げます。詳細については、追ってご連絡いたします。

会費・特別会費納入のご依頼

年会費 五、〇〇〇円(普通会員)

二、〇〇〇円(賛助会員)

特別会費 一〇、〇〇〇円(当選年次)

会費・特別会費未納の方は、事務局までご連絡の上、ご納入下さいますようお願いいたします。ご不明の点がございましたら事務局までご連絡下さい。

新会員勧誘のお願い

地方自治体の首長・議員に公選された宗派の僧侶の方で、本会に未加入の方をご存知でしたら、加入ご推奨いただくとともに、事務局までご連絡下さい。

公職選挙宗門推薦について

今後、選挙の施行があり立候補を予定されている方は、宗門推薦をいたしますので事務局までご連絡下さい。

ホームページについて

龍谷顕真会ホームページでは活動内容等掲載いたしておりますので、是非ご覧下さい。また、ホームページを開設されている方には、リンクをさせていただきたいと存じます。事務局までご連絡下さい。



ホームページアドレス <http://www2.hongwanji.or.jp/r-kenshin/>

『龍谷顕真会会報』(第二十六号)

二〇〇八(平成二十)年三月発行

【編集・発行】

浄土真宗本願寺派

総局公室〈渉外・広報担当〉内

龍谷顕真会事務局

八〇〇―八三三八

京都市下京区堀川通花屋町下る

浄土真宗本願寺派宗務所内

電話(〇七五)三七二一五一(一代)